

保護者の皆様へ

柴崎保育園・民営化だより

令和2年6月30日 第12号

寒暖が激しく、はっきりしない天候が続いておりますが、皆様お変わりはありませんでしょうか。

さて、柴崎保育園の民営化に向けて、柴崎保育園ホールにおいて令和2年6月27日（土）と6月29日（月）の2回、第7回三者懇談会を開催いたしました。ご参加いただいた皆様には、各ご家庭からお一人のみのご出席とさせていただくなど、感染症予防に係るご協力をいただきましてありがとうございました。

今回の三者懇談会では、民営化後に行われております合同保育の実施状況と検証結果や、子ども達の様子、合同保育の実施期間について、保護者の皆様のご意見をいただきながらお話をいたしました。懇談会の概要は下記のとおりとなります。

(1) 民営化後の保育の実施状況と検証結果について

・立川市保育課保育振興担当課長より

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の皆様には家庭保育等のご協力をいただきましてありがとうございました。

令和2年4月に柴崎保育園が民営化されてから、市の職員が3人残り、柴崎保育園運営のサポートを行う合同保育を実施してまいりましたが、この合同保育について、市保育課職員及び公立保育園の園長の計5人で、4月27日（月）と6月24日（水）の2回、保育の実施状況や書類等の確認を行いました。

1 回目は、新年度の運営体制や保育環境の整備、引継ぎ保育に加わった職員との連携、感染症対策等についても確認を行いました。登園自粛をお願いしておりました期間ということもあり、登園していたお子さんたちが少ない中の保育でしたが、慣らし保育を行うお子さんの登園時期もずれたことで、一人ひとりしっかりと関わることができたとの話が若水会の保育士さんから聞けました。園庭での活動も、小さい子が大きい子にお世話をされながら遊んでいたりと、大人に見守られながら少し難しい遊具に挑戦したりしている姿が見られました。

保育の様子以外では、保育に関する計画や、保健や栄養、危機管理、アレルギー対応のマニュアルなど保育園運営に関わる書類の確認を行いました。保育に関する計画では、公立保育園でも大事にしている「自分の気持ちを表現できる子ども」といった記述もあり、公立保育園での保育が引き継がれていることがうかがわれました。また要所には主任保育士さんのアドバイスなどのコメントがあり、保育園として保育に目配りし、保育士を育てていることが伝わってきました。マニュアルは、職員の身だしなみや授乳・おむつ交換といった保育の基本的なことについても作成されており、とても細やかでわかりやすい内容でした。

2 回目は、登園自粛の願いが緩和され、登園児数がほぼ通常どおりとなった時期に実施しました。まだ園に慣れていないのか、泣きながら登園してきたお子さんもいましたが、保育士さんに抱っこされるとほどなく泣き止んで遊び始める様子や、保育士の後追いをする姿など、柴崎保育園の子ども達と若水会の保育士さんとの関係がしっかりと築かれて、お子さんが大人を信頼している様子がどのクラスを見ても伝わってきたのが、とても印象的でした。これは公立保育園の時から子ども達の中に育まれていた「人を信じる力」が、若水会の保育士さん達にも同じように寄せられている結果だと思われ、また若水会の保育士さんも、引継ぎ保育から合同保育の日々の中で、柴崎保育園の子ども達一人ひとりを大切に育ててくれたからこそ得られたものだと感じています。

現在の園での生活環境は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、グループごとで交代で園庭に出たり、食事の時差をつけ間隔をあけて座ったりと、少人数で活動することが多くなっています。子ども達が今までよ

りも分散して動くことになるので、安全な環境を整え、大人がしっかりと連携することがとても重要になりますが、保育士さん達が意識してお互いに声をかけあう様子が見られました。ただし、子ども達自身がこういった動きにまだ慣れていないこともあり、大人の役割分担や連携の仕方などを常に確認し、さらに安全な環境を整えることを継続して行い、今後も状況に合わせて対応することが望まれます。

その他、公立保育園から引き継いだ遊びの約束を、「こんな時はどうする？」と子ども達に投げかけながら一緒に考えたり、行事の進め方も、子ども達の気持ちを大事にして子ども達自身がどんなことをしたいかをもとに考えながら進めていくというお話をうかがっています。

以上のとおり 2 回の確認の中で、感染症対策の影響はありながらも、子ども達が安心してのびのびと生活し、落ち着いた保育が行われていることを確認しました。柴崎保育園の穏やかな雰囲気の中で、子ども達が大人との信頼関係を土台にして、これからどんな風に伸びていってくれるか、とても楽しみにしています。

(2) 合同保育の実施状況と子ども達の様子について

・若水会より

新入園の皆様には初めてご挨拶します。若水会は柴崎保育園の運営のため、法人全体で取り組んでおります。今後は園舎の建替えも予定しておりますので、今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

4 月から家庭保育のご協力をいただいたご家庭や、大変な中お仕事をされていた保護者の皆さんには、多大なご協力をいただきましてありがとうございました。子ども達は登園できない期間があったにも関わらず、登園してきてすぐに保育士にいろいろと伝えてきてくれたりと、引継ぎ保育から作り上げてきた良い関係を続けられていることは、保護者の皆様のご協力あればこそだと感じています。

本来 4 月からはクラス懇談会などを通じて保護者の皆さんとも関係づくりをしていく時期であり、子ども達の姿の見通しを保護者の皆さんにお伝えして保育を実施していかなければならなかったのですが、保護者の皆さんとお話しする機会を設けることができずにスタートをした状況になっており、保護者の皆さんと園とのコミュニケーションがまだ不足していると感じております。私たちからもお声がけを積極的に行うよう努めますので、保護者の皆さんからもご質問や疑問に思うこと、ご意見など、どんなことであっても職員にお話しいただければと思います。クラス懇談会については、感染症対策の状況にもよりますが、9 月くらいには実施したいと考えています。場所の確保や開催の見込みがつかましたら、皆さんにお知らせしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

調理や保健についても、それぞれの立場で子ども達と関わるが増えてきて、調理では材料の切り方を公立園の時を参考にしたりするなど工夫しており、子ども達も新しい料理にもだんだんと慣れてきた様子が見られます。看護師からは保育園で手洗いとうがいについていろいろと話をしていたところ、ご自宅でも手洗いの話をされたというようなこともうかがっています。園での活動においてもある程度決められた枠の中で、次の活動へ移る時間を子ども達自身で確認し、時間を決めて行動する姿も見られました。

クラスでは、引継ぎ保育から関わっていた保育士はもちろん、新しく来た保育士に対しても子ども達はすぐに特徴を捉え、馴染んでいる様子が見られます。また 5 歳児では夏祭りの相談を始め、意見を出し合い、子ども達自身でも考えています。

・立川市合同保育担当保育士より

民営化にあたりましては、子ども達や保護者に不安がないように自然に引き継げることを目標に進め、合同保育中には保護者の皆さんに聞き取りを行い、早期に対応が必要なことや課題について若水会へ伝えました。若水会の保育士さん達は柴崎保育園の子ども達が大好きで、一人ひとりの子どもの心に寄り添い、丁寧に保育を行うことができていると感じており、子ども達は安心して保育を受けている様子が見られ、現在は信頼関係もできてきていると考えています。

・保護者の皆様よりご家庭での様子について

○下の子は乳児であり、2 か月間家庭保育を行っていたため、慣らし保育の状態に戻ってしまうのではな

いかと心配していたが、登園再開してからすぐに保育園になじむことができた。上の子は保育園に通うのをとても楽しみにしている様子が見られた。保護者としては、子育てについての悩みや保育以外のことについても保育士等ともしっかりと話ができれば、と感じている。その他、牛乳から豆乳へ切り替え等はずっとゆっくり丁寧に移行してほしかったが、子ども達が楽しく保育園に通っているの、それはなによりだと思う。

- 担任保育士からは子どもの様子を聞くこともあるが、公立保育園の時のように、担任保育士以外からももっと気軽に話を聞いたりできれば、園と一緒に育てているという実感を得られると思う。
- 家庭保育の期間がだいぶ長くなり、子どもとぶつかることもあったが、登園が再開したことでだいぶ落ち着いてきており、食わず嫌いも解消されてきたと思う。登園自粛前の状況にだいぶ戻ってきたと感じている。
- 登園自粛期間が終わって登園が再開した当初は気が乗らない様子があったが、最近、保育園が楽しいという言葉が出てきた。字に興味が出てきたので保育園でもそれが出せば良いと思う。
- 4月から不安定な様子が見られ、基本的には保育園は楽しいと言っているが、たまに行きたくないということもある。保育園のできごとをあまり自分からは話さないの、日々の保育について、保育士等からたくさん聞ければと思う。また担任保育士以外とも交流を持ちたいと思う。

(3)合同保育の実施期間について

・保育課長より

保護者の皆様、ご意見等をありがとうございました。柴崎保育園民営化後の保育については、4月から新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中で通常とは違う形での保育になっていました。そのような中でも、子ども達と若水会の保育士さん達との関係性はできてきたと感じられますが、クラス懇談会が開催できなかったことなどから、保護者の皆さんとの関係づくりはこれからも力を入れていく必要があるものと思います。市としましては、合同保育が終了した後も柴崎保育園への支援を継続し、折々、市の職員が柴崎保育園に来て様子を確認していくこととし、柴崎保育園合同保育は、6月30日をもって終了することにいたします。

(4)その他

柴崎保育園民営化三者懇談会につきましては、昨年の2月から本日まで、計7回開催させていただきました。保護者の皆様には、各回ともお忙しい中ご出席をいただきまして、様々なご質問、ご意見、お子さんのご家庭での様子などをお聞かせいただきまして、誠にありがとうございました。

合同保育は令和2年6月30日で終了となり、予定されておりました三者懇談会も今回で終了となりますが、今後も大きな課題や問題が生じましたら、また三者懇談会を開催するなどいたしまして、保護者の皆様と若水会と市とで、共に問題の解決を図っていきたくと考えておりますので、よろしくお願いたします。

以上

【三者懇談会における質問と回答】

- ・Q1. 合同保育を終了するにあたり、市としては引継ぎなどでやり残したことはないか。
- ・A1. 引継ぎ保育・合同保育を通じて、若水会の保育士さん達を信頼して引き継ぐことができたと考えています。これからも私立保育園と公立保育園の良いところと、新型コロナウイルス感染症対策などを合わせて、より良い保育を実施していけるものと考えています。
- ・Q2. 保護者と、担任保育士やその他職員とのコミュニケーションが不足していると感じている。
- ・A2. 若水会の職員としましても、保護者の皆さんとのコミュニケーションが不足していることは感じていました。まず職員の顔と名前を憶えていただくために、今までの取り組みに加え、各クラスの見えやすいところなどにも写真と名前を掲示します。職員に声をかけづらいという点につきましては、保育士から積極的に保護者の

皆さんに声をかけるように努めますので、皆さんからも保育士が忙しそうにしているでもご遠慮なくお声をかけいただければ幸いです。日中の様子が分かりにくいというお話もありましたので、お声をかけと共に掲示等を工夫してお伝えしていきます。豆乳の提供につきましても、皆さんへのお知らせなどをもっと丁寧に行うべきだったと考えておりますので、今後もより丁寧な対応をしていきます。

・Q3. 行事について、このままなくなってしまうのではないかと心配である。

・A3. 今は新型コロナウイルス感染防止対策のため、昨年度までと変わっている点が多くありますが、行事は子ども達が社会や地域との関わりの中で育つために必要なものと考えていますので、なくすのではなく、子ども達が主体として関心を持って実施できるように進めていきます。今までと変わり、保護者の方が参加できない場合や今までとは違う形になることもあるかもしれませんが、お子さんの姿を保護者の皆さんに見ていただく方法を、WEB 上でパスワード付きの動画や写真を提供することなども含めて色々と検討しております。保護者の皆さんからも良い事例等があれば、園に教えていただけますと大変ありがたいです。

・Q4. 給食や活動等、日中のスケジュールが変わることで生活スタイルが変わってきてしまうことが心配である。

・A4. 生活時間を大きく変える場合は、保護者の皆さんへご説明し同意を得てからでなければならぬことは、民営化の際の条件として十分理解しています。現在のように、特に少人数でグループごとに時差をつけて活動しているのは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子ども達の安全を第一に考えたものですので、今後も生活の時間を変更する場合は、保護者の皆さんの安心と子ども達の安全を第一に考えて、十分に説明をさせていただいた上で変更していきます。もしも現在ご家庭で生活リズムが変わってしまい、困っているということであれば、ご家庭と一緒により良い方法を考えていきたいと思っておりますので、保育園にもご相談いただけますと幸いです。

・Q5. 園からの説明が保育士によって違うことがあった。また園からのお知らせが分かりづらい時がある。

・A5. 園内での伝達がうまくいかずに大変申し訳ございませんでした。今後も新型コロナウイルス感染防止対策などのため皆さんにご協力をお願いすることがあると思っておりますので、保護者の皆さんへの説明を統一できるようにしていきます。また園からのお知らせもわかりやすく工夫するとともに、園だよりには日中のお子さんの様子が分かりやすいように写真を増やしていく予定です。

・Q6. 保育園で怪我をした際に報告用紙での連絡のみであったが、保護者への日中の連絡をする際の基準などはないのか。また、看護師が地域の病院を把握しきれていない様子が見られた。園から保護者への報告がなく、子どもから直接聞いた怪我もあった。

・A6. 怪我に関する保護者の皆さんへの連絡については、園で話し合いをしまして、今後、首から上の怪我については原則日中にも連絡を行うようにしたいと考えています。地域の医療機関の把握につきましてはすぐに対応していきます。怪我をされた際には行き届かず大変申し訳ございませんでした。今後も環境の整備や子ども達への見守りなどに留意して、安全確保に努めていきます。

・Q7. 年長児の行事での達成感や、日々の活動の中で責任感を養うことが少なくなってしまうか心配である。

・A7. 新型コロナウイルス感染症対策を行いながらも、子ども達がなにかを成し遂げる達成感や責任感・自立心を養うため、新しい生活様式に配慮した行事の取り組みや、これまでの当番や役割も含め、子ども達と話し合っ決めていくなどの方法で、実現していきたいと考えています。

民営化に関する問い合わせ

立川市子ども家庭部保育課

電話番号 042-523-2111 内線1320 FAX番号 042-528-4356

電子メール hoiku@city.tachikawa.lg.jp

民営化相談専用メール enkatuiko_hoikusodan@city.tachikawa.lg.jp